

国宝建造物修理現場見学および近代和風建築物の保存活用状況視察

(抜粋版)

国宝 妙法院庫裏 保存修理現場見学 および 大書院など見学
国宝 三十三間堂 防災設備改修見学 および 特別法要
国宝 延暦寺根本中堂 保存修理現場見学 および 大書院見学
河井寛次郎記念館 (旧河合寛次郎邸)
和中庵 (旧藤井彦四郎邸)
無名舎 (旧吉田邸)

2024年6月13日～14日

JIA 関東甲信越支部 保存問題委員会主催

(記録のまとめ：福田之一)

参加者名簿

	氏名	所属
1 副委員長	下崎明久	JIA長野地域会
2	池森 梢	長野地域会会長
3 委員	黒田和司	JIA神奈川地域会
4 委員	安達文宏	JIA千葉地域会
5 〆ザ-ハ-	太田安則	JIA千代田地域会
6 委員長	福田之一	JIA目黒地域会
7 委員	大嶽陽徳	JIA栃木地域会
8 委員	長井淳一	JIA群馬地域会
9	石津幸子	日本インテリアプランナー協会理事
10	中村則正	NEO建築設計代表、NPO古材文化の会

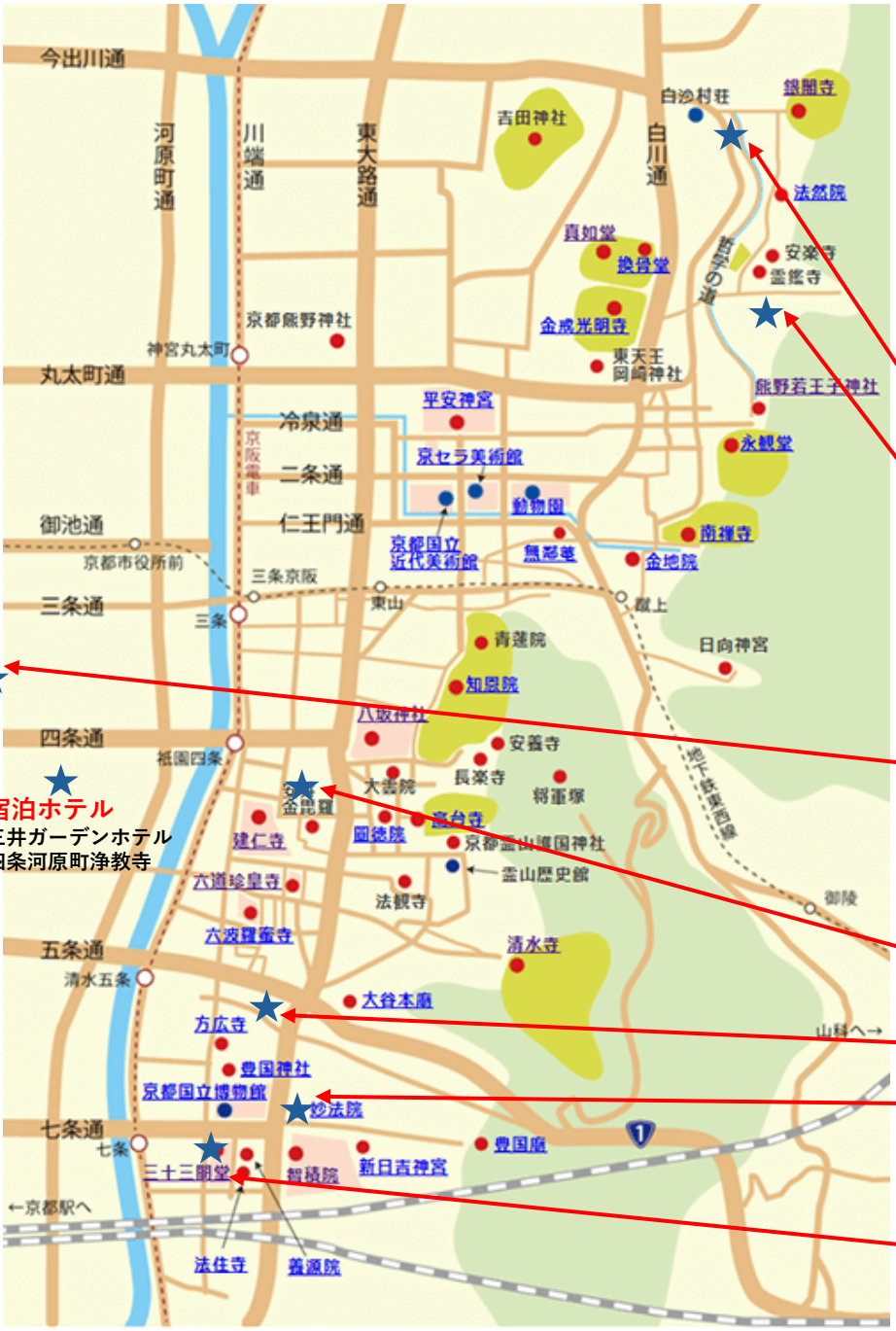
京都 国宝建造物改修現場視察ツアー計画

第1日目 6/13(木)

20240418

場所	時刻	交通機関	見学先・備考
東京駅 京都駅		新幹線(各自手配お願いします。)	集合場所：別紙参照（八条口タクシーのりば）
京都駅 八条口 発	13:00	タクシー4人分乗*3台 (割勘をお願いします。) 移動15分+15分	
妙法院 発	13:30 15:00	見学90分 (京都府教育委員会許可) 徒歩400m移動10分 +予備5分	国宝庫裏修理現場および重文玄関、重文大書院 案内：京都府技師および中村則正氏 撮影はOK,ネット公開不可。
河井寛次郎記念館 発	15:15 16:00	見学45分。予約済 (12名、15~16時)。 徒歩800m移動20分 +予備10分	昭和12年1937築の工房・自宅。東山五条。 途中、 方広寺 (国家安康の鐘)
三十三間堂 (国宝蓮華王院本堂) 発	16:30 17:00 17:30	見学30分 いったん退出後、三十三間堂での 法要 に特別参加 タクシー4人分乗*3台 (割勘をお願いします。) 移動20分 +予備10分	重文 太閤堀 、重文 南大門 。 法要15分：案内中村則正氏
祇園烏居本	18:00 21:00	東山区祇園町南側570-8、 075-525-2810 ホテルまで徒歩800m	3時間、芸妓・舞妓・地方と共に夕食
ホテル	(21:30)	自由移動 (参考ルート：花見小路→建仁寺→団栗橋→木屋町高瀬川→四条河原町→寺町通) チェックイン各自 (朝食付きプラン)	三井ガーデンホテル京都河原町浄教寺 075-351-1131

第2日目 6/14 (金)			
ホテル		モーニングコール7:00 、朝食各自 (6:30~)	
		チェックアウト各自	
	発	8:00 マイクロバス移動60分	
比叡山延暦寺 根本中堂		9:00 見学60分	国宝根本中堂修理現場
	発	10:00	案内：滋賀県技師および中村則正氏
比叡山東塔 大書院		10:15 見学60分	1919築、設計武田五一、登録文化財
			案内：延暦寺担当
	発	11:15 マイクロバス移動30分+15分	
昼食 (銀閣近く)		12:00 注文・精算各自	銀閣 おめん 60分
	発	13:00 マイクロバス移動10分+5分	
和中庵		13:15 見学90分	疎水近くの東山別荘群の一つ、洋館、客殿、茶室
			案内：福田
	発	14:45 マイクロバス移動45分+15分	
無名舎 (旧吉田家住宅)		15:45 見学45分	京町家 (新町通六角)
			黒田氏の紹介
		16:30 マイクロバス移動25分+5分	
京都駅		17:00 解散	



比叡山へ

7. 銀閣おめん

8. 和中庵
(旧藤井彦四郎邸)

9. 無名舎
(旧吉田邸)

4. 祇園鳥居本

2. 河井寛次郎記念館

1. 妙法院庫裏
保存修理現場

3. 三十三間堂
防災設備改修現場

宿泊ホテル
三井ガーデンホテル
四条河原町浄教寺



6. 延暦寺大書院

5. 延暦寺根本中堂
保存修理現場

6月14日
No.5~9

6月13日
No.1~4

見学先ルートマップ



妙法院のこと

京都国立博物館の東、智積院の北にある天台宗の寺院、皇族や高位の公家が住持を務める「門跡寺院」で、江戸時代までは法親王が住持となっていた。一時は秀吉が大仏殿を建立した方広寺を管理下とし、現在でも三十三間堂は妙法院の管轄である。



国宝『妙法院 庫裏』 屋根付きの庫裏玄関

国宝『庫裏』

「庫裏」とは寺院の台所・食堂で、多くの僧の食事を作ることができる大きさを持つ。小さい寺院では生活の場全体を指す場合もある。方広寺の大仏殿完成後に秀吉が各宗派の僧を大勢集めて「千僧供養」を行い、その際の食事はこの庫裏で作られたと記録に残る。

一重（一階建て）に入母屋造の屋根で、その上に更に煙を出す為の小屋根が乗っている。内部は煮炊きをする「土間」と広い「板の間」「座敷」に分かれており、座敷以外は天井がはられず広い空間となっている。



国宝『妙法院 庫裏』 屋根には排煙のため
に小屋根が乗る



1. 国宝妙法院庫裏 保存修理現場

京都市東山区七条上ル



庫裏 (国宝)
1595豊臣秀吉建立
修理保存現場

玄関 (重要文化財)
桃山時代、1619移築

唐門
享保時代、1730建立



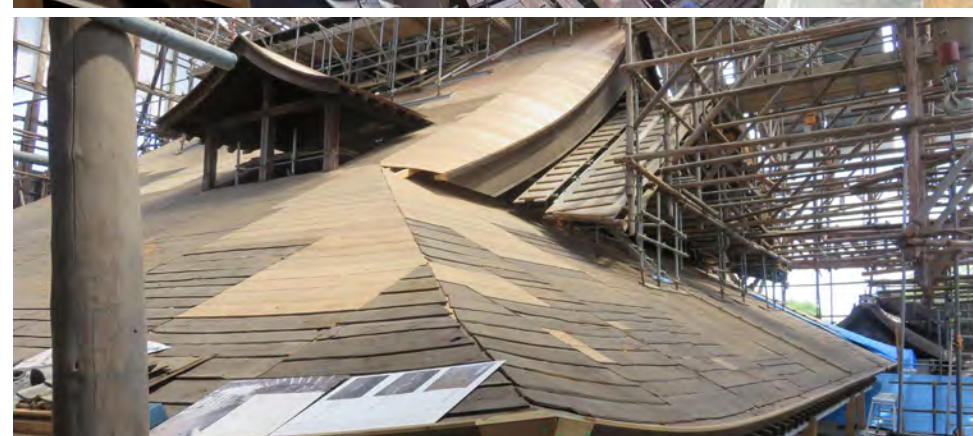
白書院
門主の私的空間

大書院 (重要文化財)
桃山時代、1619移築

宸殿 (普賢堂)
明治時代、1898建立

本堂 (普賢堂)
寛政時代、1799建立

妙法院 境内
開山 最澄
豊臣秀吉による造営
天台三門跡 (青蓮院、三千院)
三十三間堂は飛地境内、所有管理



案内は妙法院大道執事庶務部長、京都府文化財保護課引間主査。仮囲いは在来の木組で伝統工法の継承を目的とする。



▲山里の古民家のような風情



▲お尻の形の可愛い椅子



「暮しが仕事 仕事が暮し」～土と炎の詩人—河井寛次郎～

清水寺に程近い、東山五条。大通りからひと筋それて路地に入ると、そこは静かな住宅街。車一台がやっと通り抜けられるほどの狭い道沿いに、民家が建ち並んでいます。そんな京都の人々の生活に溶け込むようにして建っているのが「河井寛次郎記念館」です。

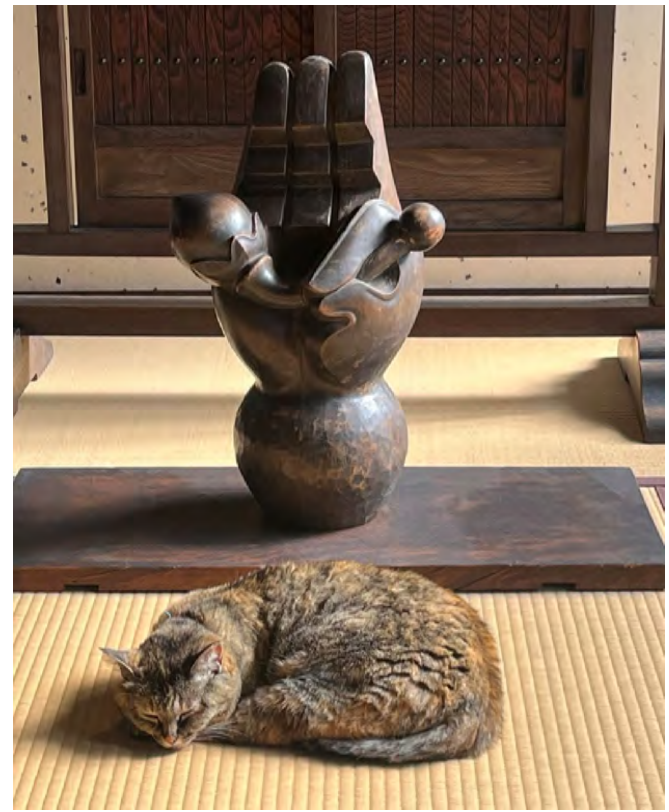
「暮しが仕事 仕事が暮し」の言葉を残した陶工・河井寛次郎の世界をお楽しみください。

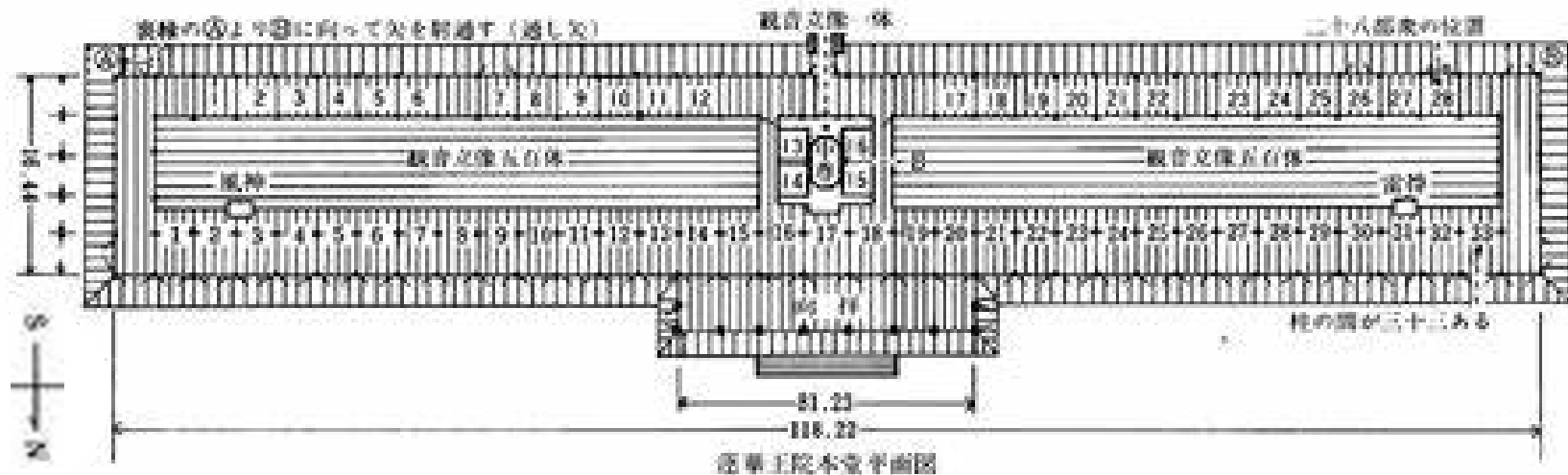
2. 河井寛次郎記念館（旧河合寛次郎邸）

京都市五条坂鐘鋳町569

国登録有形文化財

寛次郎自身が設計、大工の兄が棟梁となり、1937（昭和12年）竣工



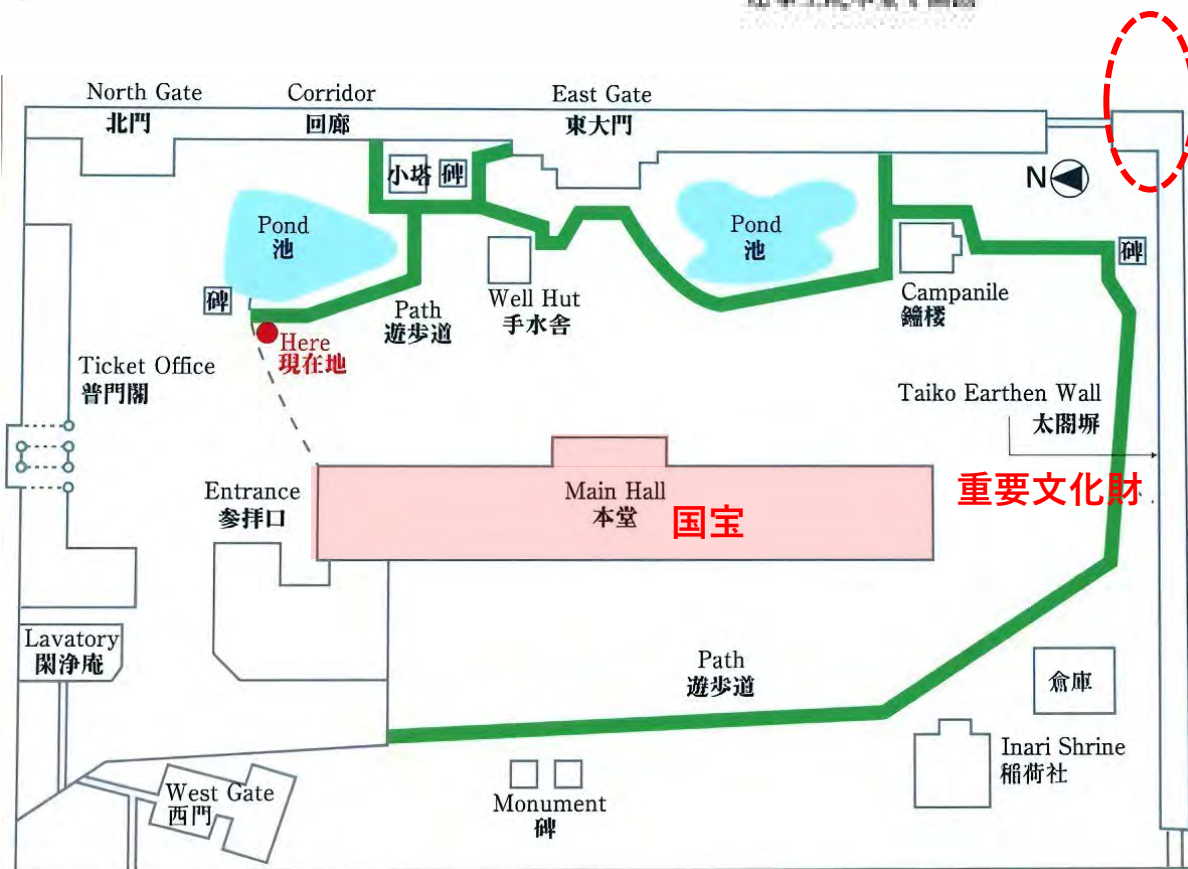


久寿2年（1155）、第77代天皇として即位した後白河天皇は、わずか3年で二条天皇に位を譲って以後、上皇として「院政」をおこないました。三十三間堂は、その御所に長寛2年（1164）造営されましたが、80年後に焼失し、まもなく後嵯峨上皇によって再建されました。

当時、交通の要所だったこの地に目を向け、後白河院や清盛の栄華にあやかろうと思立った秀吉は、その権勢を天下に誇示するため奈良大仏を模した大仏殿方広寺を三十三間堂の北隣に造営し、お堂や後白河院の御陵をも、その境内に取り込んで土堀を築きました。今も、その遺構として南大門・太閤堀（ともに重要文化財）が残っています。

お堂の修理も千体仏をはじめとして念入りに遂行され、その意志を継いだ秀頼の代まで続きました。大仏殿は、文禄4年（1595）9月に完成し、千人の僧侶により落慶供養されたといひます。

秀吉は、死後「豊国大明神（とよくにだいみょうじん）」という神格として祀られ、お堂東隣の阿弥ヶ峯には壮麗な社殿が造営されました。



南大門
重要文化財

重要文化財

3. 三十三間堂（蓮華王院） 京都市東山区三十三間堂廻町657



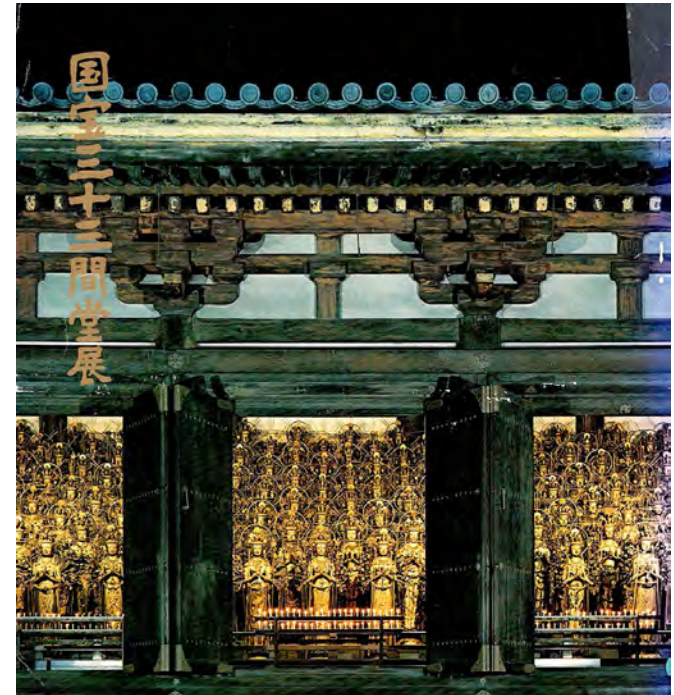
蓮華王院 国宝



南大門 重要文化財

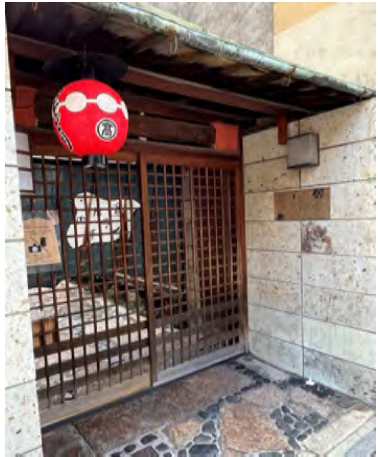


太閤堀 重要文化財

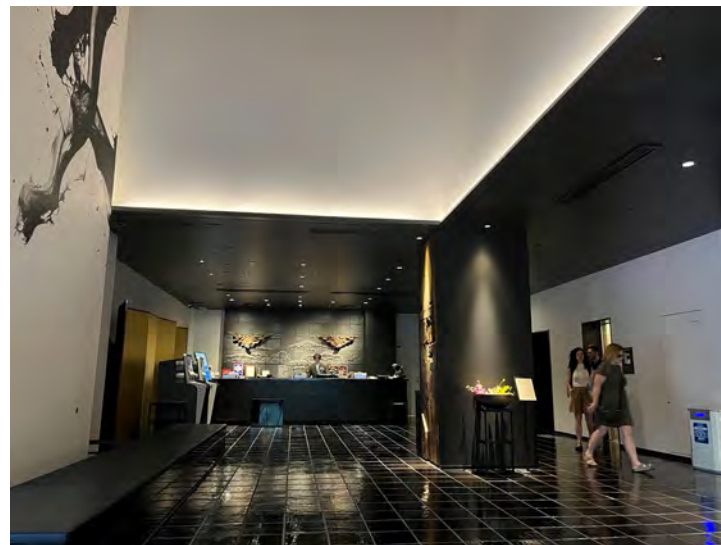
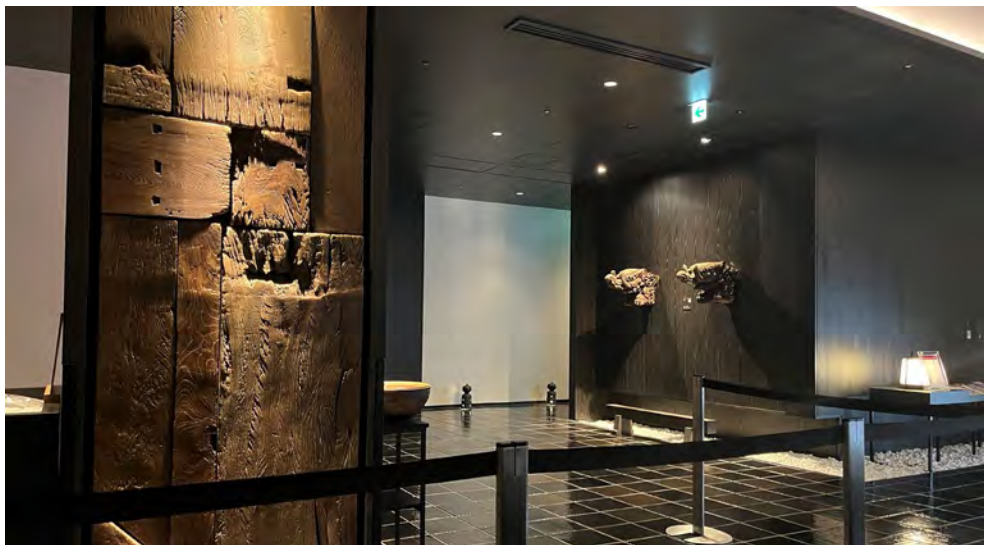
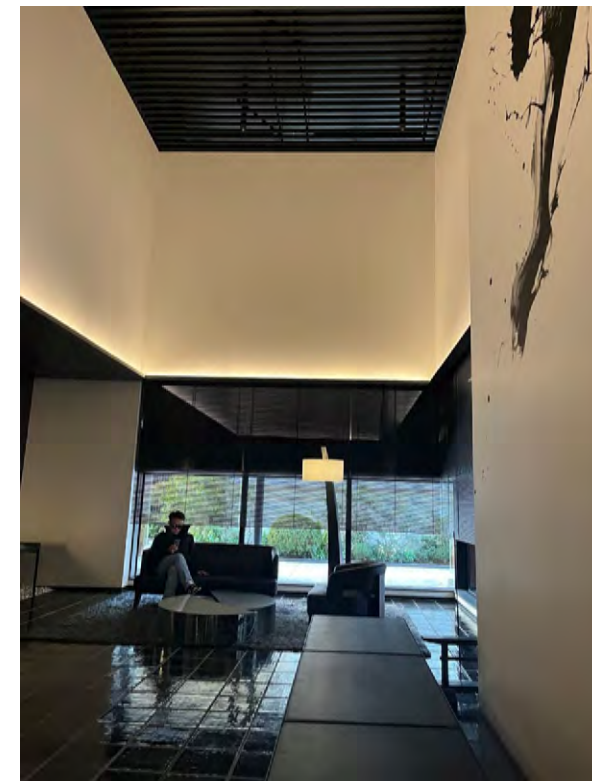




蓮華王院三十三間堂の御本尊 十一面千手千眼観世音。特別法要は妙法院福井執事総務部長。



京都の文化の真髄を堪能。市紘、小桜、まほ璃による舞と唄。



寺院とホテルの複合施設

- ・ 繁華街のすぐ裏にある寺院境内の容積率をホテルとして活用。
- ・ ホテルの内装デザインは解体した寺院にあった木組みや象鼻、木彫を効果的に見せる。

宿泊：三井ガーデンホテル 四条河原町浄教寺

京都市下京区寺町通四条下る
貞安前之町620番

延暦寺 根本中堂－平成の大改修

平成28年（2016年）から約10年間の「平成の大改修」に入っている延暦寺の**国宝『根本中堂』**は、手前にある**重要文化財の廻廊**と共にすっぽりと覆い屋に囲われています。根本中堂は独特な作りになっていて、仏像仏具が安置され僧侶の方がお勤めをされる**内陣**が、参拝客のいる**中陣・外陣**よりも3mほど低くなっているのです。このため、一般的に見上げることが多い**仏像（本尊は秘仏のため御前立）**が同じ目線で、内陣を覗くと僧侶の方々が下の方にいらっしゃいます。この**内陣は土間**になっていて、現在は修復のための足場がたくさん組まれた状態です。



延暦寺大書院

根本中堂



5. 国宝 延暦寺根本中堂 保存修理現場

滋賀県大津市坂本本町4220番地

延暦寺の根本中堂は再建後、7度目の大改修

根本中堂の歴史

788年	最澄が一乗止観院創建 (3堂並ぶ根本中堂の前身)
887	円珍の改修で3堂が1つの 大堂に
980	良源の改修で回廊など新設 (ほぼ現在の形に) (この後、何度か焼失と 再建を繰り返す)
1571	織田信長の焼き打ちで焼失 (元龜の法難)
1573 ~92	天正年間に再建 (小規模な仮堂との説も)
1631	大風で倒壊
1642	徳川家光が再建 (現存の根本中堂)
1668	寛文の大改修① (外壁下部に通風の窓)
1703 ~06	元禄・宝永の大改修②
1753	宝暦の大改修③
1798	寛政の大改修④ (根本中堂の屋根を銅板ぶきに)
1890	明治の大改修⑤ (回廊屋根をこけらぶきに)
1951 ~55	昭和の大改修⑥ (半解体修理、回廊屋根を とちぶきに戻す)
2016 ~26	今回の大改修⑦ (全体の塗装彩色なども修復)

(注) 滋賀県の昭和の「修理工事報告書」などから作成。丸数字は江戸期以降の改修の回数

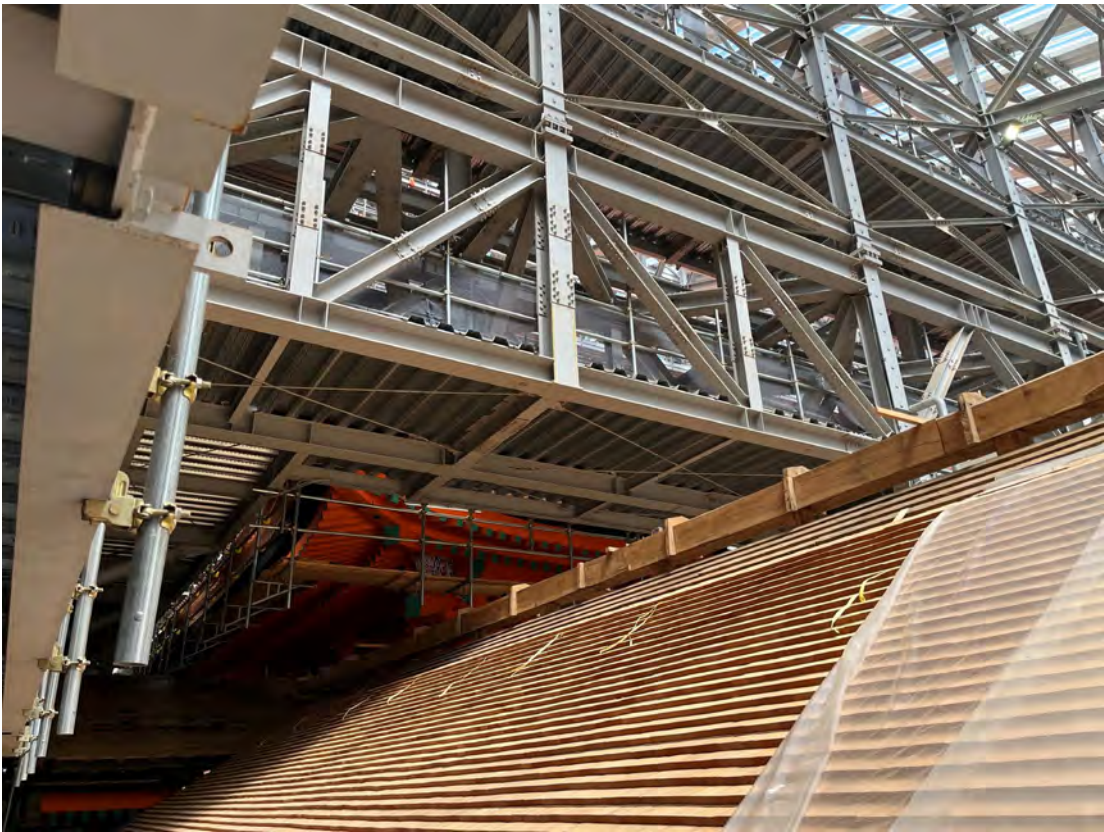


湿気で傷んだ柱の根元を切り取った後、新たな部材を組み付ける
(下に礎石が見えている)



根本中堂の屋根は銅板を外し、
下地の木材の修理が進む





滋賀県文化財保護課本田主査による案内。
仮囲は鉄骨造。
檜皮葺きの葺き替え。



滋賀県↩

大正／1919 頃／1928 移築↩

木造 2 階建、瓦一部銅板葺、建築面積 839 m²↩

1 棟↩

滋賀県大津市坂本本町 4220↩

登録年月日:20010828↩

宗教法人延暦寺↩

登録有形文化財(建造物)↩

↩

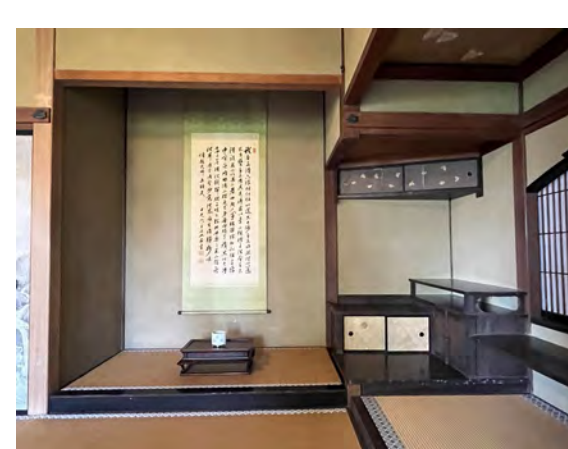
根本中堂の東方にある。もと東京赤坂にあった村井氏の山王荘の一部で、設計は武田五一、棟梁は小林富蔵。唐破風の車寄を持つ玄関棟、旭光の間と呼ぶ大客室棟、観月台を持つ2階建の居間棟からなる。洗練された書院造で、技術的にも優れた質の高い和風建築。↩

延暦寺大書院は1919年（大正8年）頃に「煙草王」とも言われた京都の実業家・村井吉兵衛（むらいきちべえ）が第122代・明治天皇の女官で、後妻になった山茶花の局・薫子（かをこ）の為に東京都千代田区山王台に建てた山王荘

6. 延暦寺 大書院

滋賀県大津市坂本本町4220番地





案内は延暦寺総務部主事補 小寺氏。
大書院の設計者武田五一はヨーロッパ留学で影響を受けたアールヌーボーやセセッションを日本に紹介しているが、一方で古建築にもかかわりが深い。



1926（大正15年）
藤井彦四郎の本宅
近江五箇荘出身
繊維製造販売

1949（昭和24年）
ノートルダム修道会が取得

2007（平成19年）
ノートルダム女学院に移管

2015（平成27年）
保存改修活用へ

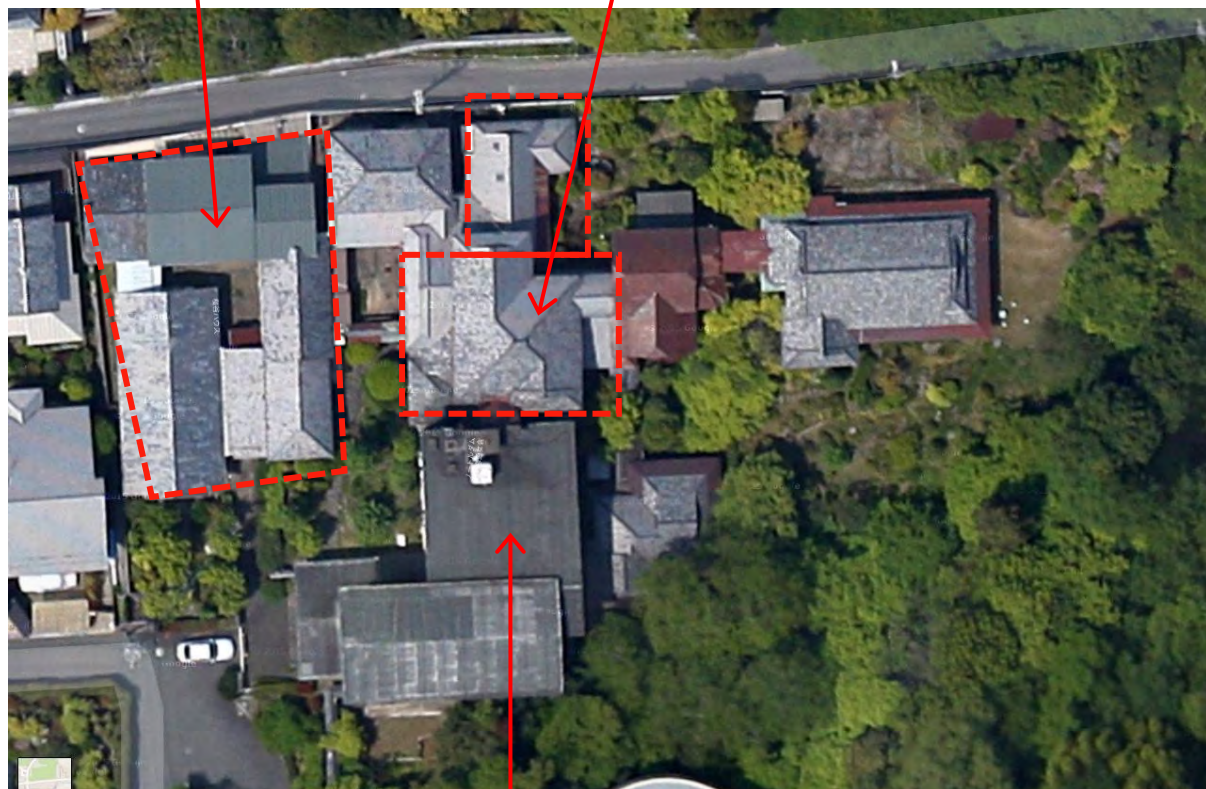
解体予定であったが、当時単身赴任中であった福田委員が保存活用を検討し、中止することができた。

7. 和中庵（旧藤井彦四郎邸）保存活用

京都市左京区鹿ヶ谷桜谷町110

桜谷ハウス (解体)

主屋 (解体)



ユーエンジニア館 RC

before
2012

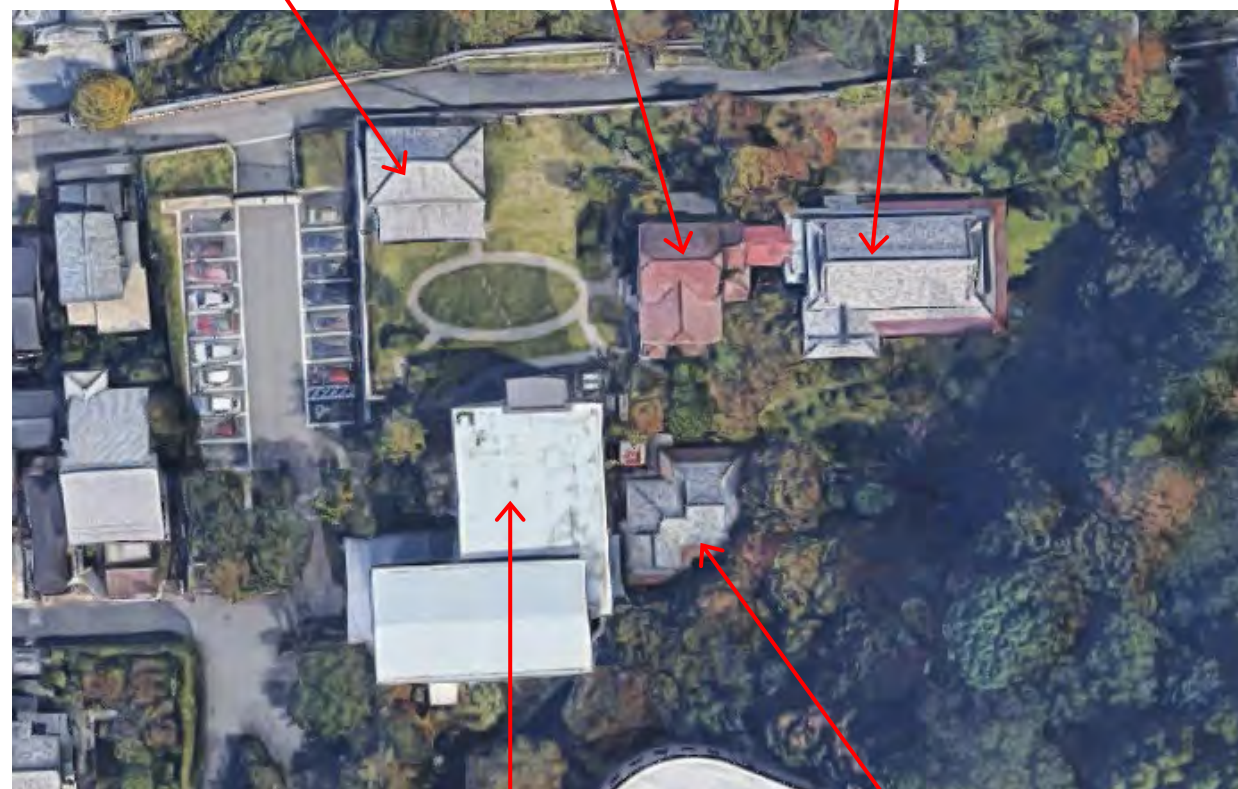


after
2016

蔵 (改修)
前室入口
展示室

洋館 (改修)
外壁修復
照明

客殿 (改修)
耐震補強
洋室→和室復元



ユーエンジニア館 RC (改修)
用途変更: 寄宿舍→学校施設
階段変更、EV設置、外部建具変更

茶室 (改修)
外壁復元
内部改修



改修前



フラットのフローリングとなっていた床の間の復元。
箆欄間（おさらんま）に貼られていた和紙をはがし清掃。



改修前

客殿（改修前）

襖に描かれた金銀砂子
技法の飛雲ぼかし
（現存せず）



花見の間の床の間裏に当たる位置にある意匠建具。
当初は明り障子が入っていたと推察。



中の間には琵琶床の痕跡があるが復元せず。
琵琶床上部窓には明り障子と板戸があり
内部から片手で開閉するため工夫がある。

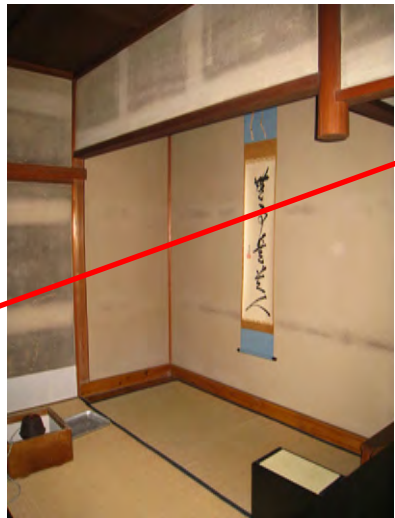


張出す軒を支える桔木（はねき）を調整し、広縁の雨戸を動くようにする。

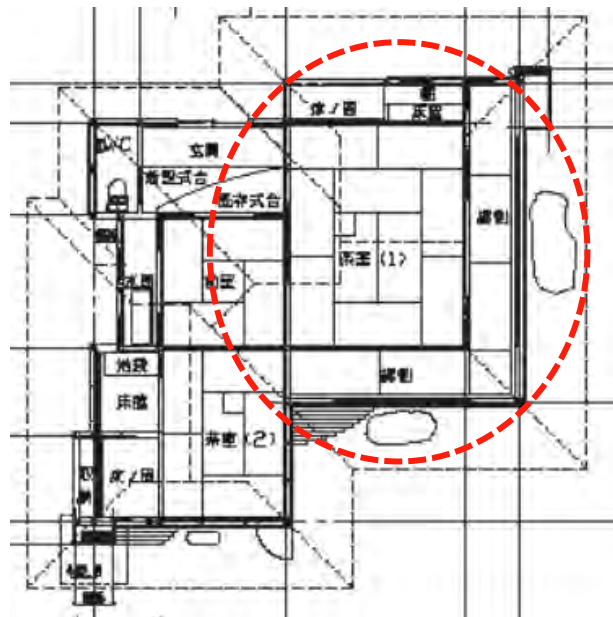


竹風軒 広間

改修前



・床の間がフラットになっていたが、春慶塗(?)の床框の痕跡が一部残っていたので赤漆塗の床の間を復元。





おめん本店の昼食



和中庵をノートルダム女学院3階から望む





吉田邸外観



/中庭から



祇園祭/後祭での吉田家

(HPから抜粋)

商家の表屋造りとして京都市の真ん中に佇む吉田邸。

当主が住み守り続ける築114年の大型京町家です。

『民藝』の真髄を日常生活に取り入れた生活空間や当主が長年収集した美術品をしつらへとした

空間をお楽しみいただけます。

8. 旧吉田家住宅（生活工藝館無名舎）

京都市中京区六角町363



黒田委員の紹介で御当主身内の相澤氏から京町家の気候特性を活かした佇まいについて説明を受ける。

